

新規職員研修を経て長期技術支援に

宮町 凜太郎（令和元年 10 月採用）

1. 自己紹介

2019 年 10 月 1 日付で着任致しました。鹿児島県出身であり、幼少期から高校卒業まで桜島を見て育ちました。

学生時代は秋田大学工学資源学部（旧鉱山学部）にて、物理探査（地震探査、磁気探査、電気探査等）や地質関連（剥片観察や作成、地質調査実習）について学びました。卒業論文は地震探査に用いる探鉱機のノイズ軽減の研究を行いました。秋田大学修士課程に進学後は草津白根山の火山性地震について研究を行いました。修士課程で火山観測に興味を抱いたため、長崎県島原市に観測所を構え、火山が多く存在する九州を中心とした観測網を持つ



Fig.1 筆者近景

九州大学博士課程に進学しました。九州大学在学中は阿蘇山中岳第一火口周辺における傾斜観測や GNSS キャンペーン観測による熊本地震の余効変動観測をしておりました。自身の研究以外にも、合同人工地震観測、水準測量、海外の観測点メンテナンスなど、貴重な経験をさせて頂きました。研究に対する自身の限界を感じ研究者の道は断念しましたが、観測をする事は大好きだったので技術職員になる事を志し、現在に至ります。趣味はサッカー、フットサル、F1 観戦です。

2. 短期支援業務

1 年間の研修期間を含め、これまでに多くの短期支援業務に従事させて頂きました。

観測点の設置、メンテナンス、撤収業務をはじめ、コンピュータ制御のフライス盤の導入や、3D プリンタによるパーツの作成、治具の作成などの工作依頼に取り組みました。また、強震応答実験室、境界層風洞実験室に関連する実験の支援も行ってきました。その他、ドローンの操縦技能照明証を取得し、ドローンを用いた業務も行っております。

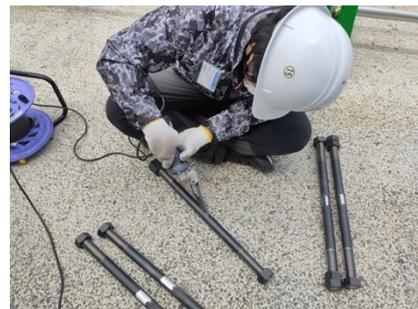


Fig.2 支援作業風景

3. 長期支援業務

2020 年 10 月から強震応答実験室にて長期支援業務に従事しております。初めての実験室勤務で慣れない点も多いですが、教員や先輩技術職員など多くの方々にご指導頂き、勉強の毎日を過ごしております。

4. これから

観測業務では学生時代の経験を活かし、経験のない業務には積極的にチャレンジして自己研鑽に努めたいと考えております。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



Fig.3 技術室所有ドローン DJI mini2